

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年2月14日
認定こども園 津久井ヶ丘幼稚園
園長 南雲 麻由美

1. 本園の目指す園児像（教育・保育目標）

- 元 気 丈夫な体と強い意志をもつ子どもの育成
- や る 気 創造性豊かで、自ら考え行動する子どもの育成
- 心やさしい子 礼儀正しく、心優しい子どもの育成

2. 今年度重点的に取り組む目標・計画

- 子どもを中心にした保育計画の実践と保護者のニーズを考慮した保育を目指す。
- 安全管理と環境整備の充実を図る。

3. 評価項目と評価の視点

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの意欲を高めるための保育実践と環境整備の充実を図る	A	室内に新たな遊具を導入し、季節や年齢に応じて子どもたちが進んで遊びこめる環境を整えた。園バスを利用した園外活動は、場所や時間配分等、内容の見直しとバリエーションを増やす必要があると感じる。
2	保護者との連携を大切にし、ニーズの把握に努める	B	保護者アプリ「コドモン」による情報提供と日々の活動の様子をドキュメンテーションや動画で配信している。学年便りの掲載方法と感染症の流行状況など保護者にとって必要な情報をより分かりやすく発信したい。
3	安全管理の見直し	A	昨年度の反省から、夏場の暑さ対策と防犯対策を講じて水遊びを実施した。また、訓練を通して職員の防犯意識の向上に努めた。

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	今年度も子ども達の声に耳を傾け一人一人の意欲を引き出すための環境設定と保育実践に努めた。異年齢児交流に加え姉妹園との交流など園の特徴を生かした活動も、集団生活からの学びにつながった。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育課程	子どもたちの自発的な学びを促進する活動計画を再構築する。
2	安全管理	緊急事態発生に備え、事業継続計画をもとに職員と保護者の共通理解を図る。
3	環境整備	園児の発達段階を考慮し、自ら考え遊びこめる環境の整備と提供に努める。

6. 学校関係者評価委員会の評価

昨年度の評価を受けて環境整備の改善ができています。園外活動時の防犯対策で検討すべき点は、次年度の課題とする。園は保護者との連携を大切にしているが、職員の負担にならない程度にとどめても良いと思う。自ら考え行動する子どもの育成は、就学後にもつながる課題として取り上げていくべき。命を守るための訓練も職員の意識付けとして重要である。